



平成 30 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社日本アクア
 (コード 1429 : 市場第一部)
 住 所 東京都港区港南 2-16-2
 代 表 者 代表取締役社長 中村文隆
 問 合 せ 先 経営企画部長 佐藤昌司
 (TEL 03-5463-1117)

支配株主等に関する事項について

当社の親会社である株式会社桧家ホールディングス（以下桧家ホールディングスという。）について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）、その他の関係会社又はその他の関係会社の親会社の商号等

(平成 30 年 3 月 30 日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券等が上場されている 金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
桧家ホールディングス	親会社	54.99	0.00	54.99	株式会社東京証券取引所 市場第一部

2. 非上場の親会社等に関する決算情報の開示の免除の理由

該当事項はありません。

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

当社の親会社である桧家ホールディングスを中心に形成される企業グループは、注文住宅事業 3 社、不動産事業 3 社、リフォーム 1 社、介護保育事業 3 社、その他 3 社および断熱材事業を担う当社で構成されております。

親会社は、当社に対して収益による貢献を期待しているのはもちろんですが、本質的には、グループの住宅事業のコンセプトである「省エネ ECO ハウス」を実現していくうえで、当社の現場発泡断熱材“アクアフォーム”が一つの有力な核となり、当社の成長とグループの収益拡大が相乗効果を発揮することを期待しています。

親会社の企業グループは、各子会社で取り扱う“アクアフォーム”を使った、快適でエコな住宅を適正価格で販売することで、住む人に満足いただくだけでなく、地球環境にも優しい住宅を提供することをグループの使命と掲げ、取り組んでいます。

親会社との人的関係においては、監査役である長谷川臣介が親会社の監査役を兼務しております。親会社出身の役員としては、取締役の平野光博と取締役の江川弘がおり、財務経理部門と技術部門を管掌しております。従業員においては、出向者はおりません。

親会社等の企業グループに属する事業子会社からの合計受注高は、当社の全売上高の 6 % 程度で推移しております。

したがって、当社は、人的関係については、親会社出身の取締役、兼務役員がおりますが、事業活動上の制約はなく、当社独自の経営判断により事業運営を行っております。また、営業取引における親会社グループへの依存度は低く、独立性が確保されております。

当社が親会社等の企業グループに属することのメリットとしては、企業グループに属する事業子会社からの受注に加え、親会社が商品を宣伝する際に、当社の断熱材を強調することが多く、結果として当社の知名度向上にもつながることなどが挙げられます。

一方、デメリットとしては、企業グループの注文住宅事業の地盤となっている地域で、親会社と競合するハウスメーカー等が当社との取引を拒むケースがあることが挙げられますが、大きなデメリットにはつながっておりません。

4. 支配株主等との取引に関する事項

親会社の企業グループに属する事業子会社は、いずれも住宅関連分野であるため、当社の断熱材に対する需要があります。特に注文住宅各社は、「泡断熱」による「省エネEcoハウス」をコンセプトにしており、受注した住宅の全棟において当社が断熱材の施工を行っております。

取引の詳細については、記載すべき重要な事項はございません。

5. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

親会社と当社間に直接の営業取引はありませんが、親会社の企業グループに属する事業子会社に対して、当社は断熱材の施工販売を行っております。取引を行うに際しては、取引金額を一般の取引条件と同水準になるよう留意して決定しております。なお、取引では当社が収益を獲得し、事業子会社が対価を支払うという関係にありますが、取引を行うことについて見返りを求められることは一切ありません。

当社の取締役は、支配株主、少数株主とも公平に取り扱うよう、つねに留意して業務を執行しております。また、当社の監査役会は、少数株主にとって不利に働く営業取引や経営上の決定が行われることがないよう、つねに注意して監査活動を行っております。

以上